

事業計画書

事業名	戸田 地域住民を対象にした生涯学習事業
実施場所	沼津市 戸田 201
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2023年8月1日 ～ 2024年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

沼津市戸田地区において高齢者の健康管理と健康増進を目的とした勉強会の企画を提案する。
地域住民の相互交流の場を提供し国内外から講師を招聘して、文化交流や生涯学習の勉強会を企画する。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

現在戸田地区は少子高齢化が進み、多くの独居老人が存在し、家族も都市部へ移住している。

医療設備も充分とは言えず少子高齢化が顕著な地域です。

地域住民の健康に寄与するため、地域住民自ら健康管理、健康増進の意識向上と勉強会を通じて日々の健康生活へのアドバイスを目的に、「脳トレ健康体操あいうえおメソッド」の発案者であるダンサーであるやまだしげき先生を招聘して勉強会を開催することにより、健康意識の増進をはかる。現在文科省の招聘で小中学校での指導を中心に活動。下記の対象別にそれぞれのプログラムを指導している。

1. 【小中学校向け】 情操教育コンテンツ
2. 【高齢者施設向け】 認知症予防コンテンツ
3. 【障害者施設向け】

レクリエーションコンテンツ健康体操の学習を取り入れ、老人鬱病やメンタルヘルス認知症予防の生活などアドバイスする。「脳トレ健康体操あいうえおメソッド」とは母音を「背骨」子音を「腕」の形で表し16のポーズの組み合わせで五十音を表現する身体言語メソッド。舞踊芸術/教育課程/予防医療/ソーシャルコミュニケーションとしての実践を提案しています。

このメソッドを用いたレクリエーションを通じて、身体を用いたコミュニケーションを楽しみながら心身を癒します。又、このメソッドの核となる「母音の運転」は、声を用いた骨盤と背骨へのアプローチにより、健康的な姿勢の維持/改善に効果が期待できます。この勉強会では、上記の目的に寄与する勉強会を企画する。定期的な開催を予定する。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
2023年	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。
9月	開始時期は2023年11月、12月、1月と各月に講師を招聘して月一回の健康のための勉強会を開催する。
10月	各講師との時間調整開始 ポスター、チラシの作成 チラシ配布各店舗などでの設置、告知と「くるら伊豆」でのチラシ設置の協力要請
11月	生涯学習プログラム 開始 事前のわかりやすい資料作成、配布できる教材の準備

11月 12月 1月	健康体操「あいうえお体操」講師による健康体操セミナー実施 その後、地域住民の講師ネットワークを作ると同時に講師の選定を行い 各月に招聘できるような勉強会企画する。(次回は精神科医の招聘を検討している一老人性鬱に関する講義の予定)
------------------	--

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。 健康管理と健康増進を考える機会 日常生活への応用 地域コミュニティの活性化 生涯学習の機会を場の提供（刺激や変化のある日常生活の提案） 地域住民の活躍の場所の提供、自身が講師となる参加型勉強会 地域外のかたとの交流と学ぶ場の提供</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>訪問想定参加者 30名-50名 現在専門家による講義は11月より予定している。毎月1回開催予定</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>事後アンケート調査 インターネットの活用とLINEなどを利用したアンケート集計</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>開催予定場所は戸田のバス停からも徒歩5分圏内であり、地域住民の認知度も高くアクセスしやすい立地である。医療設備が脆弱なこの地域に健康に対する意識や気づきにつながればという思いや地域住民の健康に寄与するため、地域住民自ら健康管理、健康増進の意識向上と日々の健康生活への外部からのアドバイスを目的に、健康体操の学習を取り入れ、各地で活躍する招聘講師を招聘して意識向上や向学心などに影響を与えられる機会とする。助成を受けられることで継続的な講師の招聘を検討し、上記の目的に寄与する勉強会を継続的に企画。事業者は現在10年にわたりNHKラジオ「ラジオ深夜便」「まいあさ」などでアジアレポートとして出演している。国際的な視点からも併せて今後戸田の発信も関与していきたい。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>戸田地区にある温泉施設は市民の憩いの場にはなっているも、学習をできる機会や場所に乏しい。本事業は地域住民のコミュニティスペースや気軽に健康管理、増進を目的とした学びを受けられるような、学べる機会をつくることにある。 気軽に学べる月一回の講師による勉強会の開催を通して町の活性化をはかる。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>この地域には定期的な生涯学習の機会が少ないと感じる。楽しみながら健康になる体操の導入は、常に何か新しいことを体験、吸収して学べるような機会を作り今回の外来講師のみならず、地域住民が交代で講師になってもらい、参加型の勉強会も今後企画。地元の高齢者の経験や知恵を分かち合う。健康料理教室なども検討体だけでなく文化も含め、好奇心や人とのつながりを生み出す機会を併せて考えた企画をはかり、町の活性化の機会をつくる。</p>

<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>地域住民が気軽に参加できるような勉強会を安価な参加費もしくは助成金で賄えるようにプランをたて、質の高い講座を継続的に企画していく。この企画が話題になれば沼津各地からも参加者が増え、地方からも戸田の文化を啓蒙できるような学習会になることを期待。事業者のネットワークにより日本のみならず海外からも招聘、参加できるような地元住民が参加講師として地元の健康法や健康料理などを指導してもらえるような会にしていければ嬉しい。助成金後はクラウドファンด์やネットを使い運営資金の協力やボランティア講師などの募集も今後検討。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>事業者は本事業のために戸田の物件を保有しているため会場代金を捻出する必要はない、また音響設備マイクなどもすでに用意している。</p> <p>講師も可能な限り質の良い講師の選択を事業者の国際ネットワークを活用する。</p> <p>また事業者は正看護師の資格を有しており、沼津出身であり沼津の医療機関での勤務経験もある。友人にも多くの医師や海外で勤務経験のある医療関係者も多く医療関係者のネットワークがある。気軽に医療相談も可能であり、これから社会問題として拡大していく可能性のある認知症予防などの受ける側、ケアする側の視線で勉強会を企画。近隣住民の健康の変化に地域住民がお互いの健康を思いやりをもって見守っていけるような相互扶助関係を作る。</p> <p>高齢者と子供、若者たちが隔てのない環境をめざし、よい講師には継続的に謝礼を支払える体制を構築して質と内容の精査をする。同時にボランティア講師も募っていく。</p> <p>スケジュールは施設の改築工事が終わり次第、11月から毎月1回で開催を予定。現在はあいうえお体操の講師と医師と2回の講義は確定している。</p>
<p>活動に対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>コロナ禍の影響で引きこもりがちになっていく現代の人間関係や孤独高齢者の増加、引きこもり老人、老人性鬱、アルコール依存症、孤独からくる精神疾患、日本のみならず世界でも共通するテーマであり、この戸田地区が今後の住民主体で健康づくりを考えるまちづくりのモデルケースとなるような活動をめざす。</p> <p>認知症の予防や対応は他人事ではなく、自分にもいつでも発生する問題で老老介護も含め、公的支援に対する提案もする。</p> <p>認知症予防には人とのつながりや日々の刺激が最も重要です。</p> <p>人との出会い、そして文化的な知的好奇心を刺激できるような勉強会の機会を作る。またそんな生涯学習モデルを戸田の町の魅力として国内外に発信する。地域住民の学習の場所がひいては、戸田に住むという喜びや自信がもてるような環境を作る。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>沼津出身であるものの、海外生活も長く、移住者として地域住民の受け入れをして頂けるか、課題は山積していると考えますが、特に人が集まれる場所にしていく努力が必要であり、認知までには時間がかかると思います。しかしながら継続して質の良い講師を選択して地元住民から評価されるような勉強会を企画していく。国内外からの学習会の招聘に対しての資金援助などが定期的な補助は有効であります。継続こそ力であると考え今後も地域住民に喜ばれ、評価されるような各回の講師選択やコーディネートに尽力したい。</p>
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。